

# 高度で複雑な運用をよりスマートに! JP1v10 登場

今回は十二社十四名のユーザ様にお集まりいただき、第七回JP1ユーザ会九州支部はスタートした。今回はV10のリリースという節目の年。開発元である日立製作所様のJP1に懸ける熱い思いも伺うことができた。

第7回  
2012年  
11月21日開催

## 日立製作所が語る「JP1の軌跡と未来」



株式会社日立製作所  
瀬戸山 正幸 様

### 製品開発は「落穂精神」

一九九〇年代初頭、ITの世界はメインフレームからオープンの世界に大きくシフトした。オープンマーケットという新たな分野へのチャレンジの中で誕生したJP1。当時、「メインフ



株式会社日立製作所  
坂川 博昭 様

## JP1最新バージョン「V10」の紹介

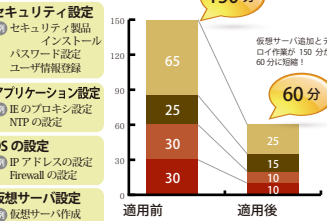
高度な運用をしなければ、高度な技術は必須であり、属人は避けられないと思われてきた。しかし、JP1V10で掲げたコンセプトは、「高度で複雑なことを誰にでも簡単にできるやさしい運用管理」だ。一見矛盾すると思えるが、JP1新バージョンは運用管理者にどのような武器を与えてくれるのだろうか。

### JP1/Automatic Operation

JP1/Automatic Operationは、V10の目玉の新機能の一つで、システム運用の標準的な手順を自動化する製品である。従来のバージョンでも業務の自動化をするJP1/AJS3があったが、本製品は、IT運用の視点で運用の自動化を支援するツールだ。中でも日立製作所で培った運用手順のノウハウをテンプレート

## ノウハウ×インテリジェンス = やさしい運用管理を実現

### JP1/AO 適用前後の作業時間比較



JP1/AOを弊社のデータセンターにおいて適用した結果、仮想サーバの追加、デプロイ作業にかかる時間を60%削減できました。

化したコンテンツがウリだ。コンテンツを利用することで、例えば、仮想環境の追加、削除の自動化も可能となる。データセンターで検証したところ、一五〇分かかっていた作業時間を六〇分に短縮できたと坂川氏は語った。

## JP1連携ソリューション「千里眼イベント管理」のご紹介



アシストではIT運用管理に必要なプロセス、機能を体系化し、フレームワークとして整理した「サービススマネジメントソリューション」E-NI-SHを、提供。今回はその中のひとつである、「イベント管理ソリューション」について紹介した。

### 千里眼イベント管理ソリューションとは?

JP1/NIに集約されたイベントを情報分析ツールQIEWに取り込み、システム運用の状態を視覚的にわかりやすく分析するアドオンパッケージである。

### 千里眼を利用するメリットは?

JP1イベントは一度確認するだけで、いつの間にか古いものは消えて確認できなくなるが、千里眼を利用すれば、過去数年にわたるイベントを瞬時にかつ様々な切り口で分析できる。例えば、時間帯別のジョブ実行数を把握すれば、サーバの負荷や処理の密度を考慮したジョブ実行計画も立てることができるとの。

## 運用にBIの視点を!



当日の座談会の様子  
話したい内容を事前に書き留めてご参加いただいた方も多かった。

## ジョブ管理製品の効果的なバージョンアップとその事例



株式会社アシスト  
吉田 貴俊

### 意外と知らない便利なコマンドやオプションも続々

JP1シリーズの中でも一番人気のジョブ管理製品。当日ご参加いただいたお客様も半数以上にご利用いただいているため、これからのバージョンアップを検討

### 知恵の輪座談会

今年時間が余れば「クイズを出題しよう」と準備していたが、そんな事務局の心配をよそに時間がなくなるほど、多岐に渡る意見が飛び交い、充実した座談会となった。

・試験的に数台導入して、業務で使えるかを見極めていく段階。利用価値があれば、徐々に増やしていく計画  
・MDMも導入している  
・導入には消極的。与えてしまふと労務管理の面で気になるとも出てくる。利便性とのバランスが難しい

### JP1/IT Service Level Management

複雑化するシステムでは、稼働状況を個々に監視するのではなく、網羅的にシステム全体を見渡せることが重要。JP1/IT Service Level Managementでは、障害時、サービス利用者から見たサービスの性能と業務システム側から見たシステムの稼働性能の分析が可能。双方の視点で原因を究明することで、問題の早期分析、解決につながる。

### 日立さんへ質問。V10は目玉機能が少ないように思われますが...

・今回は新機能追加よりも、既存機能の改善に努力したという点が目玉でした。  
運用が楽しくなるように進化してらるんですね。

### JP1ユーザ会に期待することは?

・運用担当者になって、まだ数ヶ月なので、ベテラン管理者の方から少しも吸収したいという

### 事務局より

懇親会で、ユーザ様同士が語り合うシーンを見るにつけ、製品を愛用するのは現場で利用しているユーザ様ならではの強みを感じます。これからもユーザ様同士が交流が深まるよう、努力と工夫を重ねてまいります。